

令和3年（2021年）4月12日

学校長 各位

尖石縄文考古館長

### 令和3年度の縄文学習支援事業について

今からおよそ5000年前、この茅野市には豊かな自然を背景に、類稀なる縄文文化が花開きました。特別史跡尖石遺跡、史跡上之段遺跡・駒形遺跡、国宝土偶（縄文のビーナスと仮面の女神）等の国指定文化財に代表されるように、わが国文化を象徴する遺跡と遺物が残された、「縄文の里」と呼ぶにふさわしい地域です。

このような茅野市の特徴をまちづくり・ひとづくりにいかすため「縄文プロジェクト構想」が平成22年に策定され、これに基づいて尖石縄文考古館ではその専門性を活かし縄文に関わるさまざまな事業をおこなってきました。

そのひとつに、平成21年度から本格的に市内小中学校との連携のもとで実施してきました「縄文学習支援事業」があり、そして平成26年度からは「縄文科」（現在は「縄文・市民科」）がスタートし、縄文時代、縄文文化を学ぶにあたり土器づくりをはじめ、さまざまな体験型の学習を各学校に活用していただいております。

今年度は、これまで当館で提供してきた体験学習のメニュー紹介から内容を変更し、縄文時代の衣食住など、縄文時代の生活について紹介しつつ、「学習のヒント」としてテーマごとに学習内容の例を示しました。ご多用のところ大変恐れ入りますが、縄文学習の実施を検討される学校におかれましては、内容をご覧いただきたく存じます。また、考古館職員の派遣が必要な場合には「縄文学習支援職員派遣申請書」を提出してください。ご不明の点やご相談がございましたら、下記担当までご一報ください。

担 当	茅野市教育委員会生涯学習部 文化財課尖石縄文考古館考古館係 山科 哲（やましな あきら） 両角 優花（もろずみ ゆか） 電話 76-2270 / FAX 76-2700 メール togariishi.m@city.chino.lg.jp
--------	---